

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	25	前回気づきノートの有効活用の取り組みを目標としており少しずつではあるが気づきや意見が出てきていると思えるが有効に活用されるには不十分と思われる。	気づきノートを有効活用する。	職員一人一人の気づきにより見えたニーズや生活課題を深く掘り下げその人らしく生活して頂く為にどうすればよいのか職員間に置いて積極的に意見を出し実践する。	12ヶ月
2	2	日頃から地域の方との交流に努めてはいるが限られた交流の場しかないように思われる。	地域の方との交流の場を広げる。	地域の親子で作っている畑の土地の一部を借りることが出来たので入居者様・スタッフで野菜作りをする中で地域の方との交流の場を作る。	12ヶ月
3	37	地域の方の協力による自衛消防団の組織作りはほぼできているが避難場所の確保等不十分と思われる。	避難経路及び避難場所の明確化を図る。	現存する避難場所はあるが、もし長期わり避難が必要な場合を想定して見直しを行い明確化を図る。	12ヶ月
4	40	介護記録を分かりやすく記録するように努めてはいるが、お一人お一人の行動や言葉、表情など十分に記録されているとは言えない。	その人らしく生活をしているのか表情、言葉、しぐさ等る会出来る記録を書く。	介護記録を見ればその人がどのような方なのかを理解でき、その人らしくあるがままに生活して頂けているかを読み取れるよう、表情やしぐさ等の記載について職員間で記録方法の明確化を図る。	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。